2025（令和 7）年度　後期　学生による授業評価 集計結果

日本栄養大学では、授業の質向上を目的として、学生による授業評価を実施しています。
実施結果について、次の通りご報告いたします。

○実施方法

学生が、自身の履修科目を対象に評価します。科目ごと、次の 12 項目に「良かった・改善した方が良い・いずれでもない」から回答します。

①授業形式や方法（対話型ほか）
②授業計画
③成績評価方法
④配布教材
⑤授業中の環境維持（私語への対応など）
⑥説明の仕方
⑦板書やパワーポイントなどの仕方
⑧授業内容
⑨授業時間外学修の指示
⑩宿題の量
⑪学生に対する接し方
⑫提出物等に対する教員からのフィードバック

○授業評価対象科目

2025 年度後期に、正課で開講した授業科目を対象として実施します。（通年で開講する科目は、後期科目と併せて実施します。）
ただし集計においては、単位認定科目、資格取得のための学外実習、卒業研究及び演習（卒業研究に関連して行うゼミ）、並びに履修者数 10 名未満の科目は対象外とします。
（2024 年度後期 集計対象科目：291 科目）

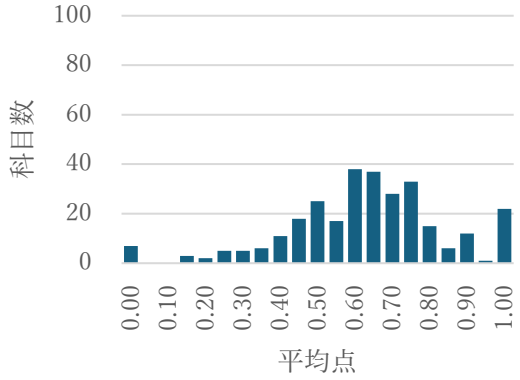
集計結果

4 ページ以降の「改善した方がよい点への評価」のグラフから、12 項目のいずれにおいても、改善を求められた科目の割合が小さいことを確認しました。「良かった点への評価」（2〜3 ページ）と総合し、全体として著しく悪い項目がないことを確認しました。

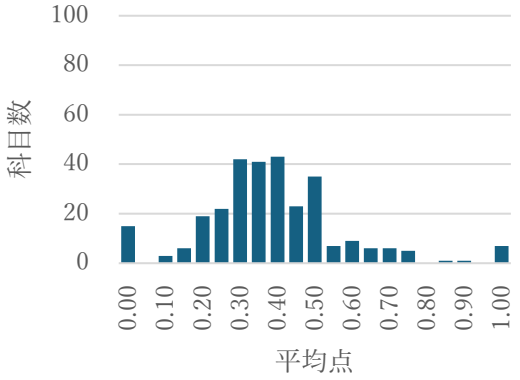
○良かった点への評価

科目ごとに、①～⑫の各質問に「良かった」と回答した学生１名につき１点として集計し、履修者数をもとに平均点を算出した。（ある項目の平均点が 1.00 の場合、その科目では、全ての履修者が「良かった」と回答したということ。）

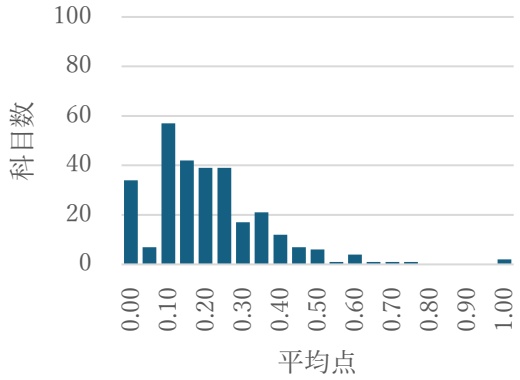
①授業形式や方法（良い）



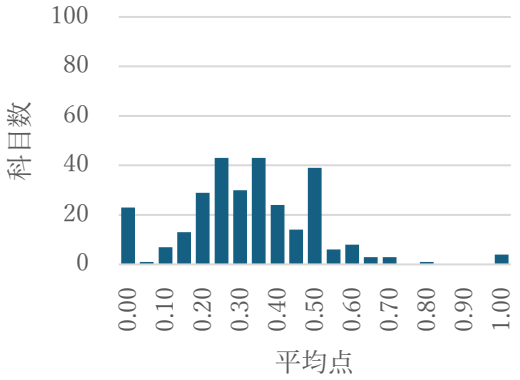
②授業計画（良い）



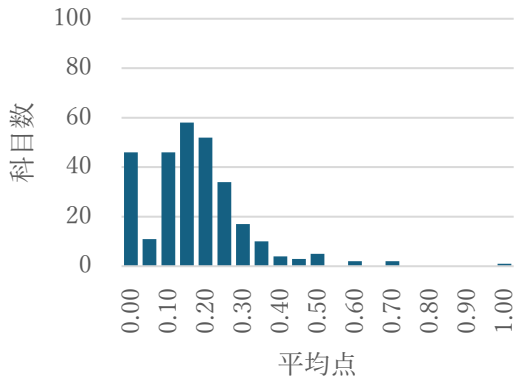
③成績評価方法（良い）



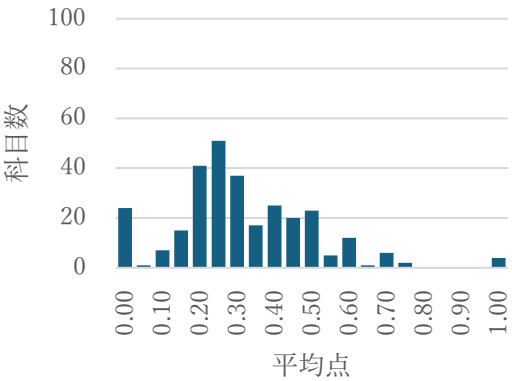
④配布教材（良い）



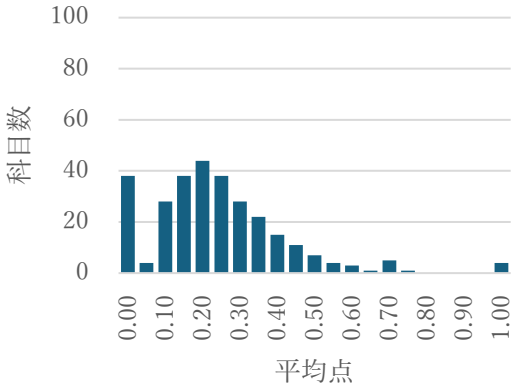
⑤授業中の環境維持（良い）



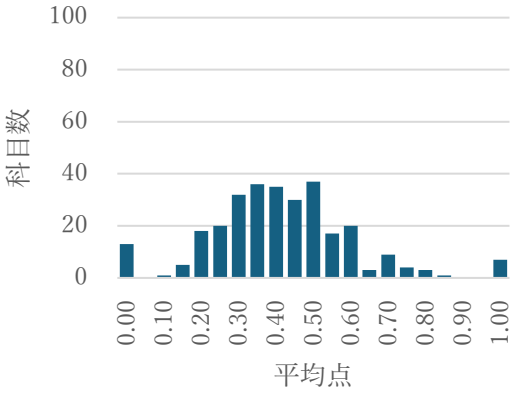
⑥説明の仕方（良い）



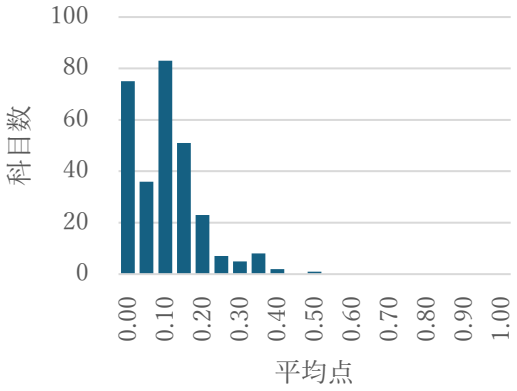
⑦板書や PPT などの仕方（良い）



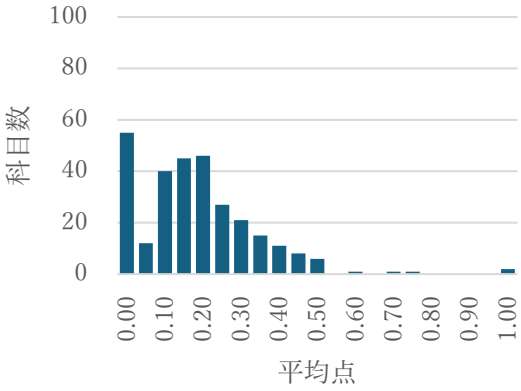
⑧授業内容（良い）



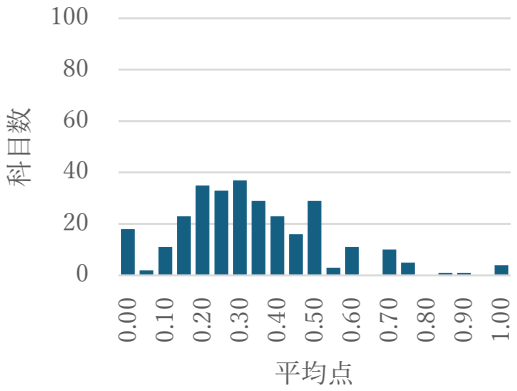
⑨授業時間外学修の指示（良い）



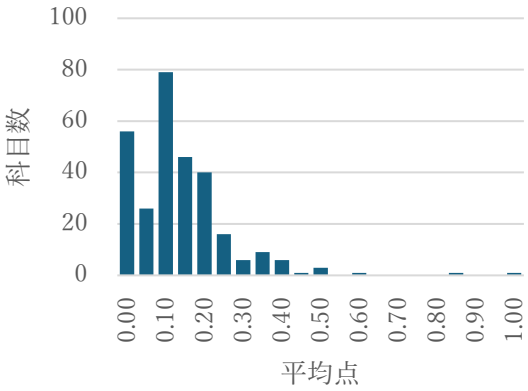
⑩宿題の量（良い）



⑪学生に対する接し方（良い）



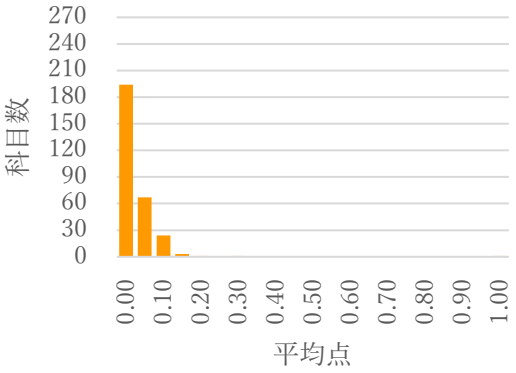
⑫提出物等へのフィードバック（良い）



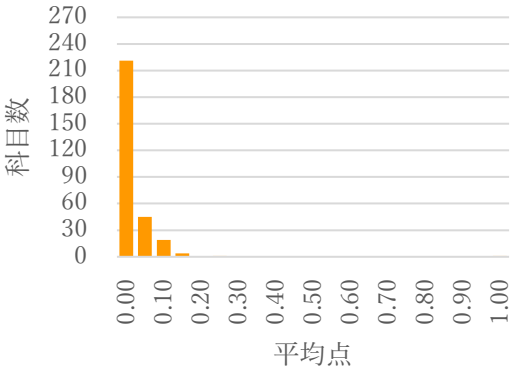
○改善した方がよい点への評価

科目ごとに、①～⑫の各質問に「改善した方がよい」と回答した学生１名につき１点として集計し、履修者数をもとに平均点を算出した。（ある項目の平均点が 0.00 の場合、その科目では、全ての履修者が「改善を求めていない」ということ。）

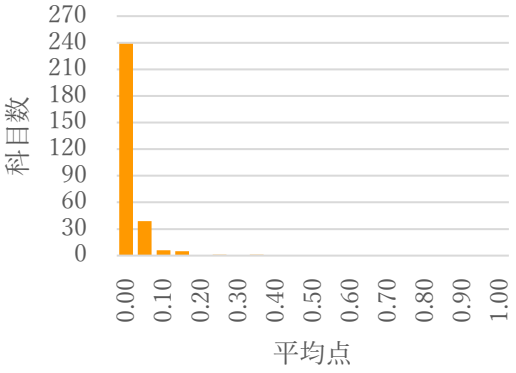
①授業形式や方法（改善した方がよい）



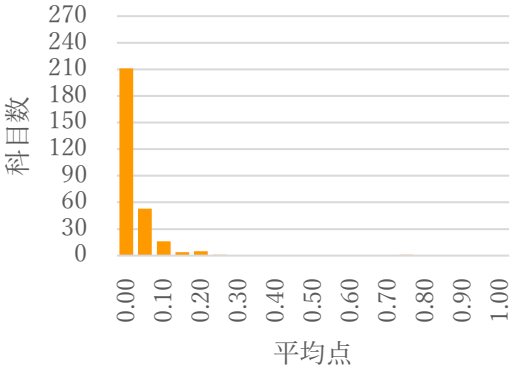
②授業計画（改善した方がよい）



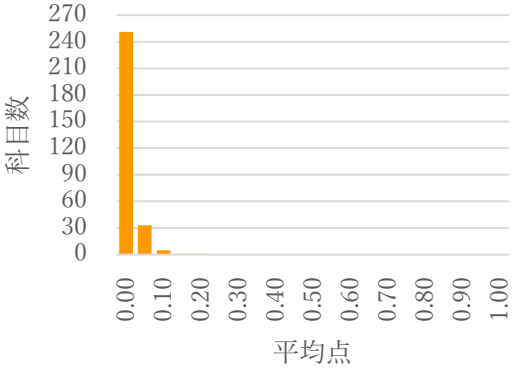
③成績評価方法（改善した方がよい）



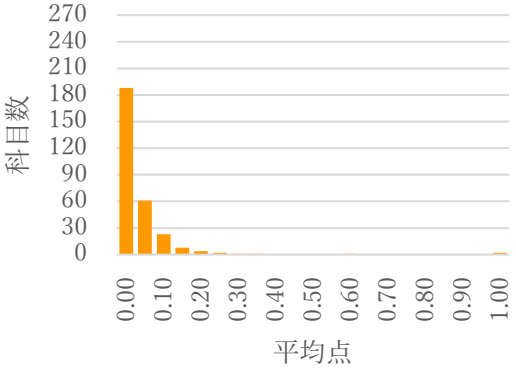
④配布教材（改善した方がよい）



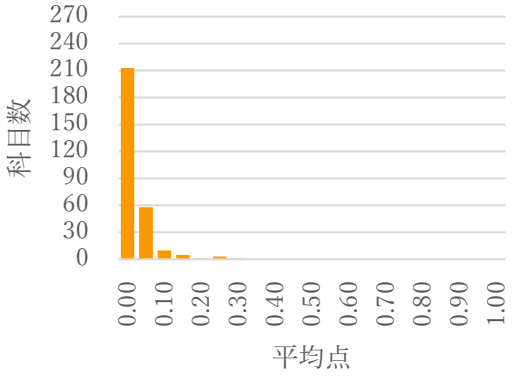
⑤授業中の環境維持（改善した方がよい）



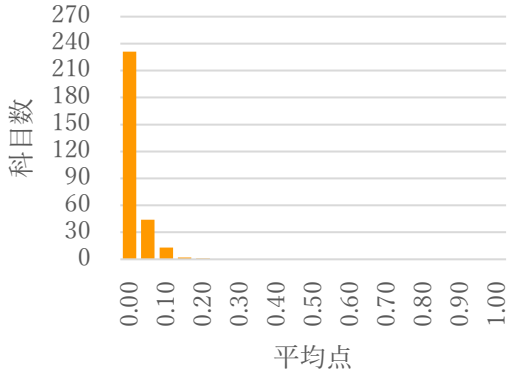
⑥説明の仕方（改善した方がよい）



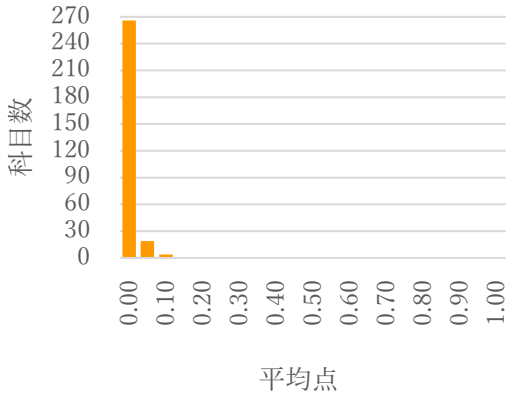
⑦板書や PPT などの仕方（改善した方がよい）



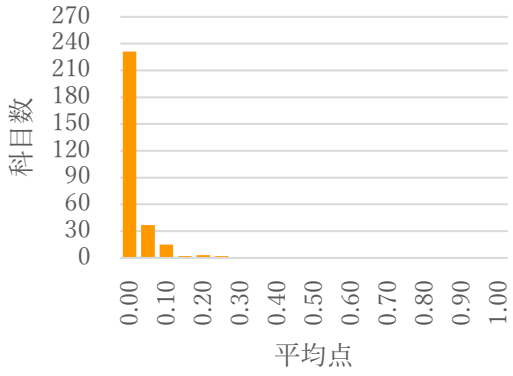
⑧授業内容（改善した方がよい）



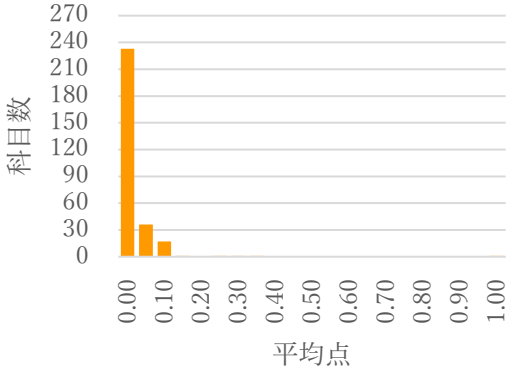
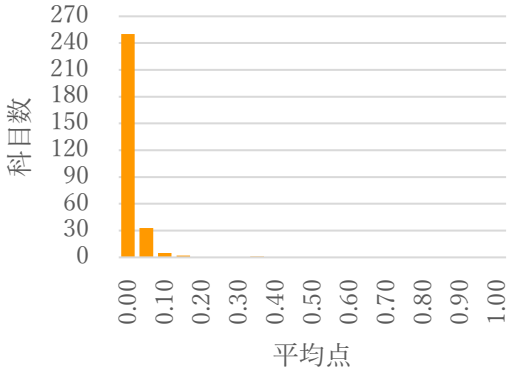
⑨授業時間外学修の指示（改善した方がよい）



⑩宿題の量（改善した方がよい）



⑪学生に対する接し方（改善した方がよい）



⑫提出物等へのフィードバック（改善した方がよい）